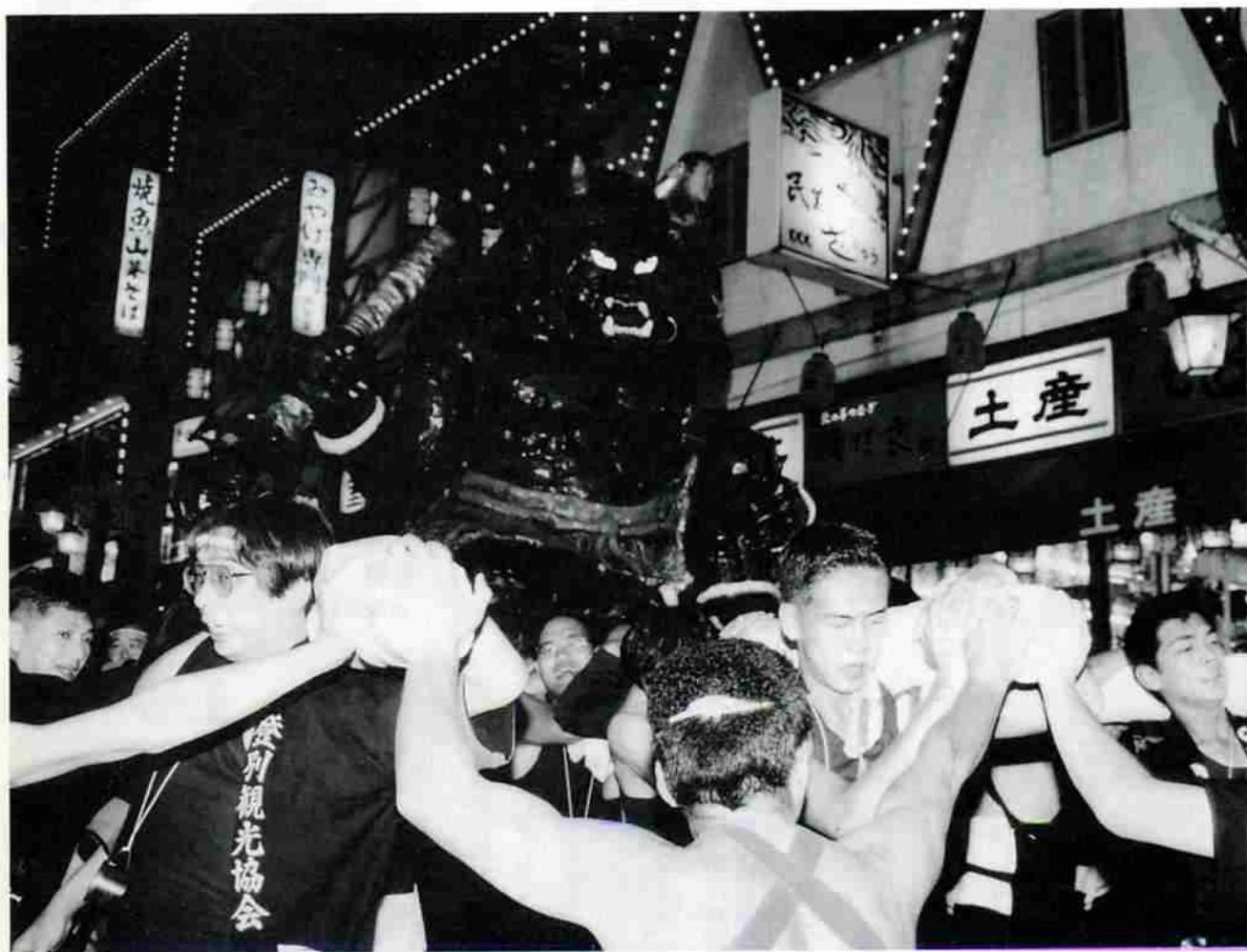


# の 広報 ぼりぼり

9/1

1996

No.551



8月23日(金)から25日(日)まで、登別温泉で第33回登別地獄まつりが開かれ、閻魔大王からくり山車の登場や、地獄大行列、鬼みこしなど、豪華な地獄絵巻が繰り広げられました。

また、鬼踊り大群舞では観光客がたくさん参加し、まつりは大いに盛り上がりました。

## 主 な 内 容

- ・市長就任あいさつ
- ・登別市議会議員、登別市農業委員、胆振海区調整委員の紹介
- ・大雨災害に備えて
- ・胆振生涯学習フェスティバル
- ・市民レポート「登別市の下水道について」  
リポーター 大村朋子さん
- ・老人医療費助成制度のお知らせ
- ・きらり 北海道陶芸展知事賞受賞 佐藤彰さん

# 市長就任に

## あたたって



登別市長 上野 晃

登別市長3期目就任にあたり、一言  
ごあいさつを申し上げます。

始めに、任期満了に伴うこの度の市長選挙におきまして、三たび市政の重責を担う光栄をいただきました。改めて課せられた責務の重さに身の引き締まる思いであります。初心忘れることなく、ふるさと登別の発展のため全力で取り組んでまいります。

今日、私たちを取り巻く社会情勢は、ますます進展する情報化や国際化、少子化、高齢化などにより急速に変化しつつあります。加えて、地方分権や規制緩和、社会保障制度の見直しや税制改革など既存の制度や政策の見直しが行われつつあり、地方を取り巻く環境

も大きく変わろうとしております。

私は時代の潮流をしっかりと見極め、市民のみなさんとの対話をさらに深め、常に市民の声がこだまする開かれた市政を推進するとともに、市民総意でつくりあげた新しい総合計画の推進体制を固め、行政改革の実施計画とともにこれらの着実な実践に努めてまいります。

さらに、少子化、高齢化社会に備えた社会基盤の整備、力強い地場産業の育成など、ふるさと登別の更なる飛躍のため、全力を尽くしてまいります。

市民のみなさんのご支援とご協力を  
よろしく願います。

## 地域の発展のため がんばります

8月11日執行の登別市議会議員補欠選挙により、高橋正美さんが選出されました。



高橋 正美(44)  
登別市若山町2丁目43番地90  
当選回数1 無所属

# 各々の分野でがんばります

## 登別市農業委員会委員

登別市農業委員会委員は、農地の維持や利用調整などを行う委員です。

6月30日告示され、次の15名の方が無投票当選及び選任されました。任期は3年です。(敬称略、50音順)

### 選挙当選者



大西 昭一  
登別東町5丁目51番地



井野 知弘  
札内町500番地



赤樫 長  
千歳町150番地



山下 勝利  
富浦町150番地



三原 博英  
札内町62番地



近井 優  
札内町24番地



小森 佐太郎  
中央町7丁目38番地1



岸本 弘  
幌別町8丁目8番地

### 登別市議会推薦者



大村 喬俊  
柏木町2丁目8番地1



相良 欣一  
片倉町2丁目35番地12

### 西胆振農業共済組合推薦者



赤樫 博  
片倉町3丁目23番地

### 登別市農業協同組合推薦者



吉鷹 敬次郎  
青葉町25番地1



山下 喜代司  
富浦町5丁目11番地



橋本 勉  
富浦町1丁目33番地3

胆振海区漁業調整委員会委員は、海区内の漁業権や入漁権などの設定の調整を行う委員です。  
7月23日告示され、登別市では次の方が無投票当選されました。任期は4年です。(敬称略)

## 胆振海区漁業調整委員会委員



松山 哲男  
千歳町4丁目5番地89



永澤 眞人  
中央町6丁目5-1

# 大雨災害に 備えて

## 大雨に備えて

登別市は、過去数度にわたり大雨による災害が発生しています。

これは、室蘭から苫小牧にいたる海岸線に沿って、海拔1千メートル前後のオロフレ山系がびょうぶのように連なり、南東の風がこれらの山に直交するといった地形が、大雨の発生と密接な関係にあるといわれています。

予測が難しい自然が相手だからといって何もしないでいるわけにはいきません。

雨に対し、的確な判断を行い、万一の場合にはいち早く避難行動を起こし、人的被害を出さないようにすることは、私たち自身の生命に対する責任です。

雨が降ってきたら、何に注意し、どのような行動をとるべきか、防災について考えてみましょう。

### ●備えはできていますか？

・家の回りの排水をよくするため、排水溝にたまってあるドコやごみなどを取り除きましょう。

・家屋への浸水に備え、低いところにある電気製品などは、高いところに移しましょう。

・フロパンガスボンベや灯油カンのなどの流れやすいものは、ロープなどでしっかりと固定しましょう。

## 台風などが近づいたら

### ●気象情報に注意を

テレビ、ラジオなどの気象情報に注意しましょう。



## 第2次避難所（屋内避難所）

地区	避難所の名称	所在地	電話	地区	避難所の名称	所在地	電話	地区	避難所の名称	所在地	電話
カルルス	カルルス越人研修の家	カルルス町27-1	84-2172	老人憩の家 静和園	中央町5-13-7	85-4987	老人憩の家 和幸園	大和町2-27-17	85-9135		
登別温泉	登別温泉公民館	登別温泉町17	84-3209	登別青少年会館	中央町5-21-12	85-3107	緑陽中学校	富岸町1-1-11	85-5409		
	登別温泉小学校	登別温泉町184	84-2062	登別市役所第2庁舎	中央町6-11	85-2111	老人憩の家 富久寿園	富岸町1-3-2	85-4980		
	登別温泉中学校	登別温泉町123-1	84-2069	幌別小学校	中央町6-19-1	85-2521	富岸小学校	富岸町2-17-4	86-6303		
	登別温泉保育所	登別温泉町92-7	84-3078	常盤婦人研修の家	常盤町2-34-1	85-8039	富岸青少年会館	富岸町2-23-15	86-2449		
	老人憩の家 泉和園	登別温泉町153-1	84-2440	老人憩の家 百寿の家	常盤町2-35-1	85-8025	老人憩の家 新生虹の家	新生町1-13-21	86-5290		
登別	老人憩の家 白樺の家	中登別町152-3	83-1985	老人憩の家 常盤の家	常盤町3-26-3	85-4564	新生団地集会所	新生町2-18-4	86-6822		
	登別公民館	登別東町2-21-2	83-3265	柏木団地集会所	柏木町1-28-1	88-0312	千代の台集会所	新生町3-13-1	86-6917		
	老人憩の家 明和園	登別東町2-21-1	83-3309	柏木婦人研修の家	柏木町4-24-8	85-1079	老人憩の家 希望の家	新生町5-23-21	86-5248		
	登別児童館	登別東町4-19-2	83-3493	老人憩の家 こふしの家	柏木町4-24-11	85-1079	老人憩の家 共和園	栄町1-10-1	86-9902		
	老人憩の家 沙見の家	登別東町4-38	83-1988	老人憩の家 柏木の家	柏木町4-31-2	85-8040	栄婦人研修の家	栄町2-7-5	86-9918		
	婦人センター	登別東町3-7	83-3511	老人憩の家 相生の家	富士町1-1-4	85-4992	富浜児童館	栄町2-18-4	86-7187		
	老人憩の家 翠の家	登別東町5-13-6	83-3372	富士幼稚園	富士町7-1-1	85-9511	老人憩の家 栄楽園	栄町4-24-3	86-6959		
	登別中学校	登別本町1-1-1	83-1029	富士会館	富士町7-2-1	88-0722	若草小学校	若草町1-1-2	86-7513		
	老人憩の家 芙蓉の家	登別本町1-18-5	83-2475	富士保育所	富士町7-2-1	85-2558	若草婦人研修の家	若草町2-2-7	86-9919		
	登別東青少年会館	登別本町1-18-4	83-3399	老人福祉センター	富士町7-11-1	88-1303	若草幼稚園	若草町2-11-1	86-1722		
登別小学校	登別本町3-25-2	83-1014	登別市民会館	富士町7-33-1	88-1100	若草つどいセンター	若草町4-21-1	86-1205			
富浦	富浦会館	富浦町1-46-4	83-2481	老人憩の家 梅の木の家	片倉町3-14-19	85-8041	老人憩の家 優和園	若草町5-32-7	86-9905		
	富浦児童館	富浦町1-52-3	83-1987	西陵中学校	片倉町5-12-1	85-5041	老人憩の家 及和園	鶯別町1-26-2	86-9916		
札内	札内小中学校	札内町73-3	85-3184	幌別西小学校	片倉町5-13	85-2364	鶯別児童館	鶯別町1-36-3	86-2766		
	老人憩の家 借楽園	札内町73-1	88-0706	登別市総合福祉センター	片倉町6-9-1	85-0100	鶯別青少年会館	鶯別町4-36-38	86-6515		
幌別	老人憩の家 すずらんの家	幸町5-27-4	85-8034	老人憩の家 ねむの木の家	新川町3-6-2	85-3741	鶯別公民館	鶯別町3-3-4	86-8823		
	幌別東小学校	幌別町8-16-1	85-3532	新川婦人研修の家	新川町4-15-11	85-8037	鶯別小学校	鶯別町4-36-21	86-7011		
	老人憩の家 東寿園	幌別町7-18-1	85-3860	老人憩の家 緑寿の家	緑町1-2-4	85-4995	鶯別中学校	鶯別町4-36-6	86-7950		
	老人憩の家 永和園	幌別町3-18-2	85-4560	桜木婦人研修の家	桜木町2-15-17	85-1244	老人憩の家 恵和園	鶯別町4-36-37	86-6515		
	鉄南ふれあいセンター	幌別町3-17-1	85-2966	老人憩の家 桜木の家	桜木町2-15-16	85-4561	老人憩の家 鶯六園	鶯別町6-14-10	86-4019		
	幌別児童館	幌別町4-10-3	85-2802	青葉小学校	青葉町3-3	85-1477	老人憩の家 みその園	美園町2-6-1	86-8807		
	幌別東団地集会所	幌別町8-12	85-8000	老人憩の家 あかしの家	若山町2-9-2	88-0156	老人憩の家 旭ヶ丘三聖園	美園町4-8-8	86-6975		
	老人憩の家 千歳福寿園	千歳町101-1	85-8032	登別市総合体育館	若山町2-26-1	85-5552	美園婦人研修の家	美園町4-8-9	86-6975		
	幌別中学校	千歳町3-1-3	85-3111	老人憩の家 若山の家	若山町2-43-128	85-4587	老人憩の家 光和園	美園町5-15-4	86-7010		
	老人憩の家 千歳の家	千歳町4-6-2	85-2066	老人憩の家 若沙の家	若山町4-6-6	85-1879	美園児童センター	美園町5-36-4	86-4591		
老人憩の家 三寿園	中央町3-10-3	85-4994	釧山市民研修センター	釧山町8-3	85-2569	老人憩の家 桜美園	上鶯別町117-26	86-7079			

〈大雨注意報〉

豪雨発生の可能性があるとき、実際に雨が降り始め、かなりの降水量となり、それが続くか、さらに強まると思込まれる場合の情報です。

〈大雨警報〉

雨量がさらに増えて降り続き、災害の発生も予想される場合の警戒を意味する情報です。

避難の準備のため

◎家族との連絡は

家族が離ればなれになったときの連絡方法や集合場所をあらかじめ決めておきましょう。

また、子どもやお年寄りには住所、氏名、電話番号、生年月日、血液型、保護者氏名などを記した「身元確認証」を身につけさせておきましょう。



◎いつでも避難できるように

非常食は2〜3日分は用意しておきましょう。

下着、靴下を数枚、毛布、レインコートなどの用意をしておきましょう。

懐中電灯、トランジスタラジオ、ろうそく、ライター、マッチを用意しましょう。(予備の電池も忘れずに)

◎洪水のときの避難方法

洪水のときに避難する場合は、足元に注意し、子どもやお年寄りに十分気を配ってください。水深が腰まであるような場合は、無理をせず、高いところで救助を待ちましょう。

風水害のあとしまつ

危険物(ガス・灯油・毒物・農薬など)の漏れ出しはないか、点検しましょう。

断線している電線があれば、電力会社へ連絡しましょう。

家屋への浸水被害があった場合は、念入りに消毒をしましょう。

(床下、庭、家の周辺に石灰を)あとしまつをするときは、ケガをしないよう、肌を露出しない服装で。

▼防災に関する問い合わせ

総務課 (☎85 1130)

第1次避難所(屋外避難所)

地区	避難所の名称	所在地	地区	避難所の名称	所在地
カルルス	カルルスサンスポーツランド	カルルス町1-3	幌	登別市総合福祉センター ふれあい広場	片倉町6-9-1
登別温泉	登別温泉小学校グラウンド	登別温泉町184		新川公園	新川町3-7-14
	登別温泉中学校グラウンド	登別温泉町123-1		かえで公園	新川町4丁目無
	登別温泉ケーブル駐車場	登別温泉町224		のぞみ公園	桜木町2
登別	登別ビーチパーク	登別東町1	別	桜木公園	桜木町4-6
	登別中学校グラウンド	登別本町1-1-1		青葉小学校グラウンド	青葉町3-3
	旭公園	登別本町1-18-1		登別市総合体育館駐車場	若山町2-26-1
札内	登別小学校グラウンド	登別本町3-25-2	鉾山	市民研修センターグラウンド	鉾山町8-3
	札内小中学校グラウンド	札内町73-3	鶯	室蘭健室兼急務訓練場(車庫付)	大和町2-34
	幌別中学校グラウンド	千歳町3-1-3		緑陽中学校グラウンド	富岸町1-11-1
	市営陸上競技場	千歳町3-4		富岸小学校グラウンド	富岸町2-11-4
	つくし公園	千歳町4-5		いなほ公園	富岸町2-34
	すずらん公園	千歳町6-1		ことぶき公園	新生町1-24
	しおみ公園	幌別町2-25		わらべ公園	新生町2-15
	幌別1号公園	幌別町4-19-1		くさぶえ公園	新生町3-14
	幌別東小学校グラウンド	幌別町8-16-1		なかよし公園	新生町4-3
	常盤公園	常盤町2-35-1		榎の木公園	栄町1-4-1
東公園	中央町1-13	若草小学校グラウンド		若草町1-1-2	
別	西公園	中央町3-10-1	若草公園	若草町1-2	
	中央公園	中央町3-21-1	若草中央公園	若草町2	
	北公園	中央町5-20	さわやか公園	若草町2-10	
	幌別小学校グラウンド	中央町6-19-1	めぐみ公園	若草町2-32	
	緑ヶ丘公園	中央町7-30	若草1号公園	若草町3-11	
	柏木公園	柏木町1-28	めばえ公園	若草町4-4	
	もみじ公園	柏木町3-36	のびのび公園	若草町4-20	
	富士2号公園	富士町5-7	わかば公園	鶯別町2	
	富士1号公園	富士町7-1-8	鶯別中学校グラウンド	鶯別町4-36-6	
	登別市民会館駐車場	富士町7-33-1	鶯別小学校グラウンド	鶯別町4-36-21	
片倉	西陵中学校グラウンド	片倉町5-12-1	室蘭自動車学校練習場	美園町4-23	
	幌別西小学校グラウンド	片倉町5-13	美園運動広場	美園町5-36	

知っておきたい  
あなたの  
避難場所



市は、市内各所に第1次避難所(屋外避難所)60カ所と第2次避難所(屋内避難所)96カ所を設けています。

万一の災害に備えて、自分の避難場所を確認しておきましょう。

▶第1次避難所(屋外避難所)

災害のため一時的に避難し様子をみるための公園や広場、グラウンドなどです。

▶第2次避難所(屋内避難所)

災害で避難した方たちを収容するための施設です。

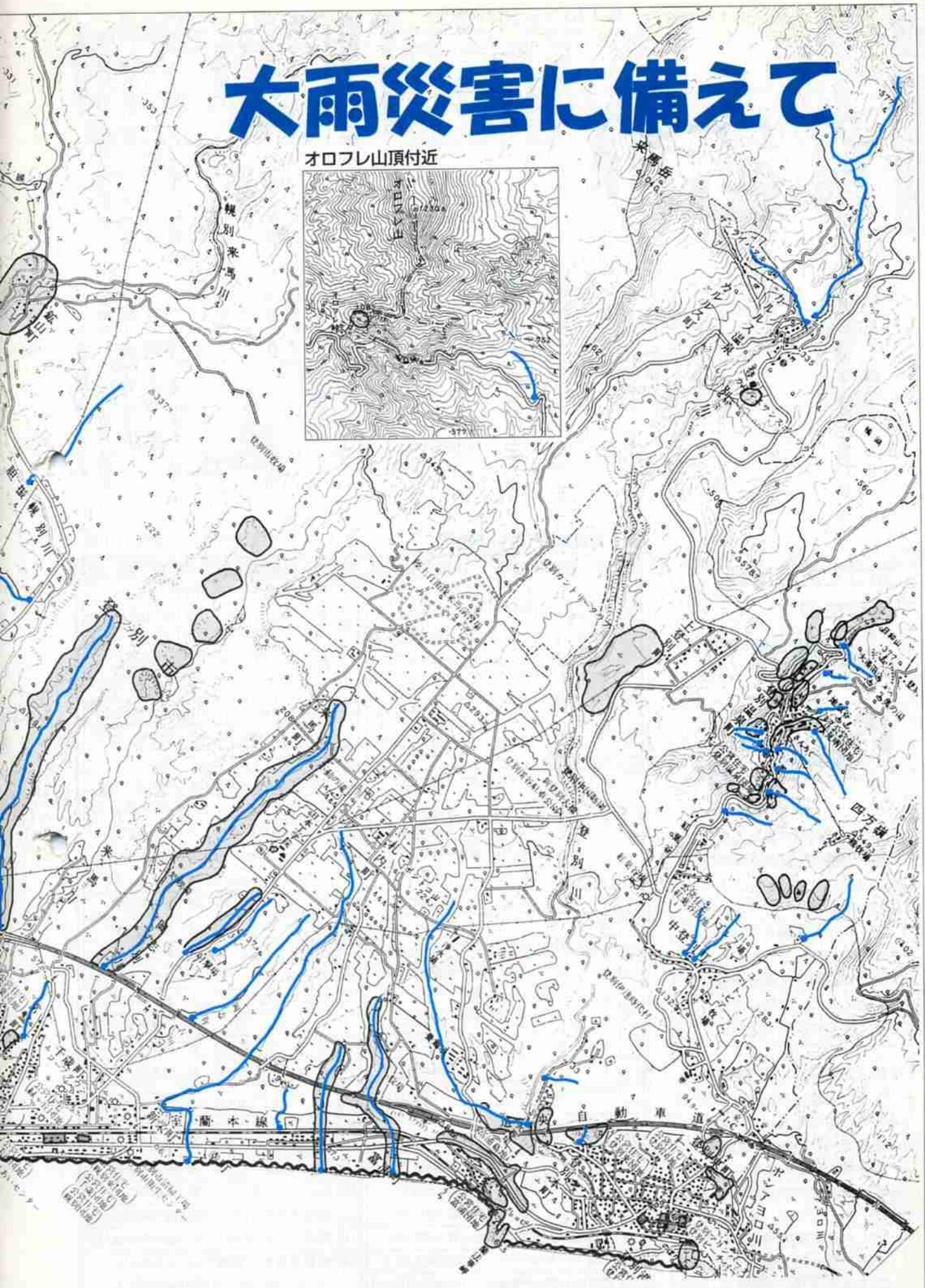
◎避難場所までの道順の確認

避難場所へ行くまでの道順は、必ず家族全員で確かめておきましょう。

どこの避難場所へどのように行くのか、2つ以上の場所と道順を知っておきましょう。

# 大雨災害に備えて

オロフレ山頂付近



# 災害危険区域図






この図は、登別市地域防災計画で定めている災害が予想される区域を表しています。

過去において災害が発生した場所を中心に定めたものです。

台風や集中豪雨の際には、十分注意してください。

現在、市は「災害に強い安全なまちづくり」を目指して河川改修や幹線排水路等の整備を進めています。

## 凡 例

-  水防区域
-  高波、高潮、津波等予想区域
-  市街地における低地帯の浸水予想区域
-  地すべり、かけ崩れ等予想区域
-  土石流危険渓流予想区域



# フェスティバル

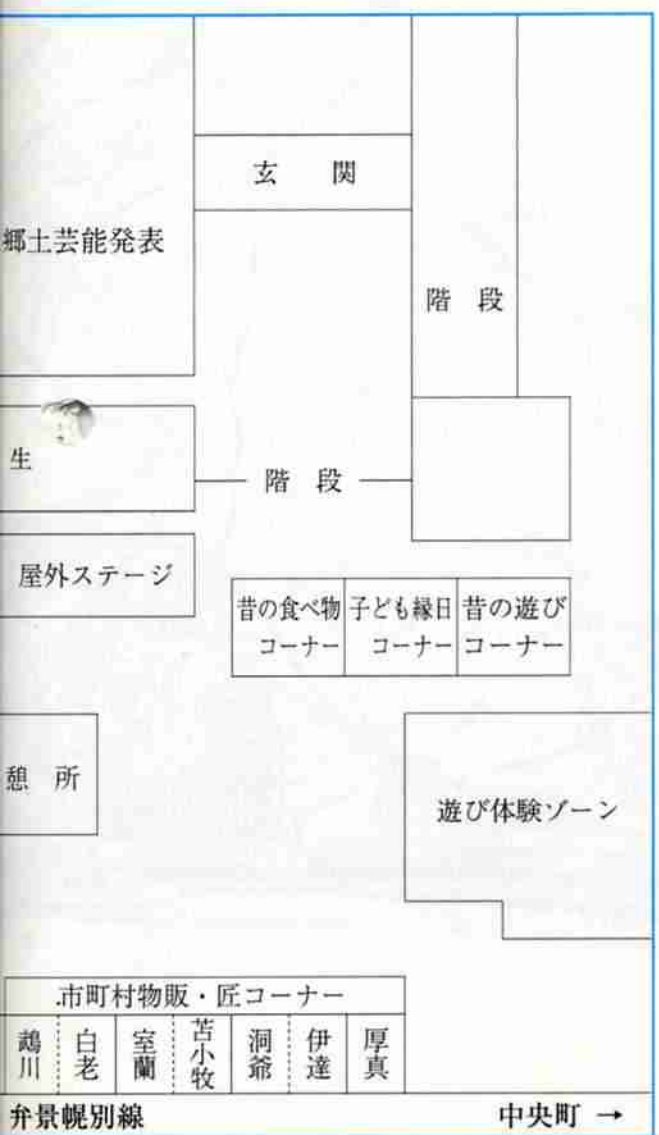
## いぶり のぼりべつ '96

10:00~15:30

市町村が登別市民会館に集います

行委員会 後援：北海道教育庁胆振教育局  
市教育委員会

### フェスティバル会場案内図



昨年、札幌市内を舞台に「まなび」でひらく、北のふるさと」をテーマに、第7回全国生涯学習フェスティバルが行われました。このフェスティバルは、子どもからお年寄りまで、だれもが楽し

く参加できる身近なイベントを目標として行われ、生涯学習に対する理解や関心を深め、「まなび」のすばらしさや楽しさを多くの方々に伝えました。道内の各市町村でも記念・協賛

### 「まなび」の灯を消さないために

事業が繰り返され、登別市も積極的に参加しました。

この「まなび」のすばらしさや楽しさを、胆振管内のみならず広く知っていただくため、登別市で第1回胆振生涯学習フェスティバルを開催することになりました。



登別市生涯学習マスコット「スタディちゃん」。

### 第1回胆振生涯学習フェスティバルプログラム 《登別市民会館大ホール》

- **ブラスバンド演奏 (10:00~)**  
幌別中学校吹奏楽部
- **生涯学習実践発表会 (10:25~)**  
司会 青木漠さん(登別市生涯学習推進協議会委員)  
発表者  
・大谷勝利さん(趣味を通して生きがいを高める)  
・六角由美子さん(白老町元気まち体操の指導を通して)  
・櫻本吉幸さん(登別ブラインドボランティアの活動を通して)
- **郷土芸能発表大会 (11:30~)**  
・胆振西部代表(室蘭市) 室蘭神楽「鯨神の舞」  
・胆振東部代表(厚真町) 「塊打(くれうち)太鼓」

### 《市民会館内1・2階廊下》

10:00~15:30

各市町村のサークル・団体などの活動の様子を展示発表をします。

- 豊浦町 写真パネル展示
- 伊達市 スリーディメンションサークル 作品展示
- 壮瞥町 バードカービング、天体写真、雪合戦の展示
- 洞爺村 手芸作品、料理活動の展示
- 大滝村 ポスター、創作作品の展示
- 室蘭市 白鳥大橋完成予想図、生涯学習活動のパネル展示
- 白老町 押し花、革工芸の展示
- 苫小牧市 紙作品の展示
- 厚真町 凧、陶芸の展示
- 鶴川町 鶴川をイメージした作品などの展示
- 早来町 革工芸、切り絵の展示
- 追分町 木彫り、パッチワーク作品の展示
- 穂別町 地域おこし活動のパネル展示
- 登別市 生涯学習活動の写真、布の絵本の展示



# 第1回胆振生涯学習

学んで 広がる いぶりの輪

## まなびピア イン

9月22日(日)

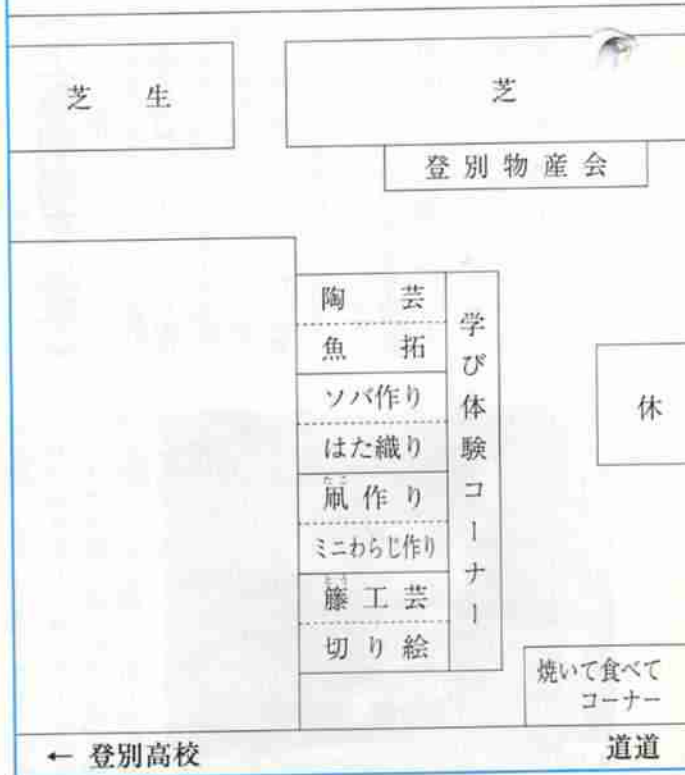
胆振管内の

主催：胆振管内市町村教育委員会連絡協議会  
 主管：第1回胆振生涯学習フェスティバル実  
 共催：登別市ふるさと広場実行委員会 登別

### 生涯学習フェステ

## 登別市民会館

(大ホール)・吹奏楽演奏・生涯学習実践発表・  
 (1・2階廊下)・市町村展示

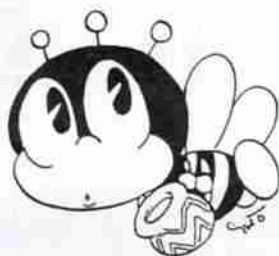


楽しく参加を!

胆振生涯学習フェスティバルは、胆振管内の各市町村がこれまでに取り組んだ「まちづくり」「むらおこし」の実践をお互いに持ち寄り、交流しあうことで、「まなびの輪」をさらに広げ、生活をより楽しく充実させ、生きがいを求め

ることを目指しています。楽しいプログラムをたくさん用意しています。みなさん気軽にご参加ください。

▼問い合わせ 生涯教育推進室 (☎) 11000



全国生涯学習フェスティバル  
 マスコット「まなび」。

### 駐車場ののご案内

※当日は、市民会館駐車場が会場となりますので、特設駐車場をご利用ください。

## 第1回胆振生涯学習 フェスティバルプログラム (市民会館駐車場特設テント村) 12:30~15:30

### 「遊び・学び体験コーナー」

- 昔の食べ物体験 (どん・センペイ)
- 子ども縁日 (綿あめ・くじ引き・射的)
- 昔の遊び体験 (シャボン玉・竹トンボ・竹馬・けん玉など)
- 焼いて食べてコーナー (そば・うどん・フランクフルト・とうきび・いも・牛乳・チョコバナナなど)
- 学び体験 (陶芸「ろくろ」体験・魚拓実習・はた織り体験・凧づくり・ミニわらじ作り・そば作り・藤工芸・切り絵実習など)

### 「物販・匠コーナー」

各市町村の特産品・名産品の販売と匠によるわざの披露。

- 厚真町 竹トンボ作り実演
  - 伊達市 曲げ物実演
  - 洞爺村 ブランドジュース販売
  - 苫小牧市 紙すき実演
  - 室蘭市 鳴り砂・クジラグッズ販売
  - 白老町 センペイとパン(愛泉園)販売
  - 鶴川町 鶴川グッズ販売
- ※登別市は物産会が参加します。

### 「屋外ステージ発表コーナー」

13:00~14:00

- 地元の郷土芸能
- オニッコマーチングバンド(登別温泉小学校) ~特別賛助出演~
- 中国雑技団(中国庭園天華園)
- 南京玉すだれ(登別時代村)
- 大道芸(登別マリンパークニクス)



「登別市の下水道について」



市民リポーター

大村 朋子 さん  
鉾山町・20才

9月1日より「全国下水道促進デー」が始まります。下水道に対する一般市民の理解と関心を深めてもらい下水道の普及促進への協力を得ることを目的としています。

最近、登別市では下水道事業が大変注目されているという話を各地で耳にします。私自身としては特に自分が使用した水がどのような処理されているのか、普段

実に、生活排水や工場排水による川や海の水質悪化は何年も前から全国的に大きな問題になってい

生活環境を

守る下水道

《市役所下水道課訪問》

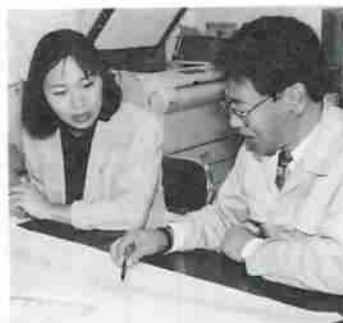
登別市の下水道事業は、市民の関心が高まり、昭和56年度から工事が進められ、10年後の平成2年10月、若山浄化センターが運転を開始しました。

昭和56年度の工事開始から平成7年度までの管渠の布設と処理場に要した事業費は、約153億円にのぼったということ、庶務係長の真野さんから聞きました。

そのばく大な金額は下水道の重要性に比例しているように思えます。

昔の話では川や堀などが家の近くにあり、毎朝そこから「水がめ」に飲料水をはじめ、生活用水が汲みためられ、また同じところで野菜を洗ったり、洗濯したりしたそうです。そこには用水も排水も同じ、大切な水という思想があったのでしよう。

今、下水道も大切な自然に送り返すという思想が進められていると思います。では、その下水管はどのようにつながっているのでしょうか。一般家庭の排水設備工事を行っている現場を見学させてもらうことにしました。



▲下水道事業について説明を受ける大村リポーター

快適でうるおいのあるまちづくり

《工事現場を見学》

工事現場は、柏木町1丁目の志村さんのお宅で、家の周りを掘り、台所、風呂場、トイレからの汚水を一カ所に集め、塩化ビニール管から道路の汚水溝へつなぐ工事でした。

ここでは、下水道設備指導係長の笹田さんから説明を受けました。

「水洗化すると臭いがなくなり、本当に衛生的になります。」



▲排水設備工事中の志村さん宅

下水道の使用料は、排水設備が完備して、使用開始を届けた日からかかり、費用的には水道使用料金より若干高くなりますが、それ以上に生活環境が著しく向上されますよ」との話がありました。

それでは、排水設備工事が完了し水洗化されたお宅では、どのように生活環境の中で生かされているのでしょうか。同じ町内に住む中西さんのお宅で、工事後の家の周りや、改造されたトイレなどを見学させてもらいました。

中西さんに、水洗化する前と後ではどのような違いがあるのかお尋ねしました。



▲工事が完了し水洗化された大西さん宅

「いままでは汲み取りだったの  
で、臭いがひどかったんです。で  
も今は臭いがほとんどしません。  
少し模様替えをしたりして、今で  
はトイレが一番お気に入りの部屋  
です」と、答えてくれました。

また、中西さんの近所周辺はほ  
とんど水酸化されているそうで、  
家の裏を流れる来馬川が以前より  
ずっときれいになったとのことで  
した。

それから、下水管をたどってい  
くと、下水道管渠（本管）へとつ  
ながります。そこでの工事はどの  
ように進められているのでしょうか。

ここでは、下水道課工事係主査  
の矢吹さんに説明を受けながら、  
実際に桜木町の開削工事の現場を  
見学しました。



▲桜木町の開削工事現場

かなり大掛かりな作業を想像し  
ていたのですが、のぞいてみると  
危険なこともなく地下まで降りて  
いくことができました。

「この現場は、污水管渠新設



▲現場監督の菊谷さんに現場の苦勞話を聞く

工事といって、一日に15メートル  
ぐらい掘って管を埋めて、土を埋  
戻すという工事を行っています。こ  
の辺りは地盤がとても良く家も密  
集していないので、工事がしやす  
いです」と、話してくださいました。

しかし、すでに道路の下には上  
水道管やN・T・Tのケーブルなどが  
あるので、それを避けて工事する  
場合などは大変なのだそうです。  
こうした下水管を埋める人がいて  
家庭と浄化センターそして、川が  
つながっているのだと実感しまし  
た。

矢吹さんの話では、登別市の下  
水道事業は今年で15年になり、平  
成7年度末で公共下水道普及率は、  
約32パーセントとなっているそう  
です。

この数字だけ見ると、道内では  
遅れている方だと言われています  
が、15年の間に普及された率とし  
ては、かなりの急ピッチです。

下水道工事が始まってから現在

までの管渠の布設距離は86キロメー  
トルで、平成5年度からは毎年10  
キロメートル以上の管渠の布設工  
事が行われているそうです。  
なるほど、最近下水道事業が注  
目されているのは、普及率の向上  
や、地域の意識が高まってきてい  
るからなんですね。

## 汚れた水は

### どこへ行くの

#### 《若山浄化センター見学》

そしてその管渠のたどり着く先  
は若山浄化センター、生活排水の  
終末処理場です。汚水と雨水を別  
々の管で運び、汚水は処理場へ、  
雨水はそのまま川や海へ流す分  
式を採用しています。

センター長の遠藤さんは何も分  
からない私に親切、丁寧に説明し  
てくださり、汚水が川に流される  
状態になるまでの過程を、それぞ



▲水が浄化される様子についてセンター長から説明を聞く

れ施設ごとに見学させてもらいま  
した。

下水管を通ってきた汚水は、ま  
ずポンプ室へ入ります。そこは、  
汚水の原水の部屋ですから、臭い  
がかなりきつく、場所的には地下  
ということになります。

そこで、大きなゴミや土砂類が  
取り除かれ、主ポンプでオキシデー  
ションディッチという部屋に送り  
込みます。ここで、好気性の微生  
物を多量に含んだ活性汚泥と混ぜ  
合わせ、空気を送り込むことによっ  
て微生物はうまく汚物を分解しな  
がら増殖していきます。そして、



▲若山浄化センター ポンプ室

最終沈殿池に生物処理された下水  
をゆっくり流し、活性汚泥を沈ま  
せ、上澄みの清浄な水と汚泥とに  
わけます。ここの清浄な水の所に、  
何年前に放したという金魚が元  
気に泳いでいました。それから上  
澄みの水は塩素剤によって消毒さ  
れてから安全無害な水となってヤ  
ンケシ川へ。汚泥は脱水して量を  
少なくし、三分ほどためられて



▲下水が処理されるまでの過程を見学

から搬出されます。  
ここまでの過程で感じたことは、  
今まで見てきた下水管などが現実  
に浄化センターまでつながり下水  
は川へ流れていくということを資  
料としてはなく、実際に見て、  
今後はもっと自然や排水に気を遣  
おうと心から思うようになりました。  
た。

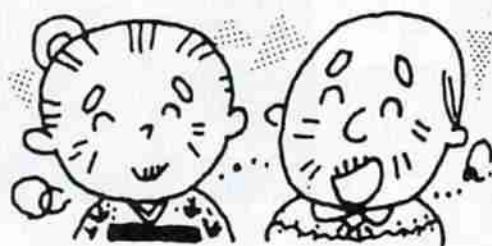
でも困ったことは、道路を歩い  
ていると排水工事をしている所や  
マンホールが気になって、つい立  
ち止まって見るようになってしまっ  
たことでした。

私が今回の取材で見た工事現場  
や浄化センターは、下水道という  
総体から考察すると、ほんの一部  
にしかなっていません。そして自然界  
全体を考えると、もっとももっとち  
ほけなものでしょう。

それでも少しでも自然を汚染し  
ない、破壊しない下水道というも  
の、それは私にとっては、自然を  
大切にする心の勉強になったと思  
います。

# ご存じですか？老人医療費助成制度

市は、お年寄りの健康保持のため、医療費助成を行っています。  
 ※医療費助成制度には、世帯要件や所得基準によるものもあります  
 ですので、詳しくは問い合わせください。



▶問い合わせ 保険年金課医療給付係 (☎<sup>85</sup>1771)

制度	内容	対象年齢	対象となる方	手続きに必要なもの	給付(助成)の概要
老人保健法 医療給付制度 <b>老健</b>		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登別市に住民登録している方</li> <li>●医療保険に加入していること</li> </ul> <p>※身体障害者障害程度1～3級及び4級の一部の方は65歳から対象となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印鑑</li> <li>●医療保険証</li> <li>●身体障害者手帳等(障害のある方のみ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総医療費から本人一部負担金などを控除した分を給付します</li> <li>※<b>本人一部負担金</b> 入院…1日につき710円 通院…1カ月につき1,020円 (ただし1,020円未満の場合は、その額です)</li> </ul>
老人医療費 助成制度 <b>老</b>		69歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登別市に住民登録している方</li> <li>●医療保険に加入していること</li> </ul> <p>※<b>資格の取得</b>                      受給資格は、満69歳になった誕生月の翌月からです。                      (ただし、1日生まれの方はその月から該当します)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印鑑</li> <li>●医療保険証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険診療の自己負担分から本人一部負担金などを控除した分を助成します</li> <li>※<b>本人一部負担金</b> 入院…1日につき710円 通院…1カ月につき1,020円 (ただし1,020円未満の場合は、その額です)</li> </ul>
老人医療費 助成制度 <b>道老</b>		65歳 ～ 70歳 未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登別市に住民登録している方</li> <li>●医療保険に加入していること</li> <li>●原則として子どもがいない満65歳以上70歳未満の方</li> </ul> <p>《<b>子どもの状況により特例があります</b>》</p> <p>★ひとり暮らし世帯 6カ月以上ひとり暮らしの方は子どもがいても該当します</p> <p>★老人夫婦世帯 配偶者が満60歳以上になっている満65歳以上の方</p> <p>★ひとり暮らし老人と児童の世帯及び老人夫婦と児童の世帯 児童は満18歳未満であること (その他、家庭条件、所得制限があります)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印鑑</li> <li>●医療保険証</li> <li>●戸籍謄本及び住民票謄本</li> <li>●資格申立書</li> <li>●所得証明書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保険診療の自己負担分から本人一部負担金などを控除した分を助成します</li> <li>※<b>本人一部負担金</b> 入院…1日につき710円 通院…1カ月につき1,020円 (ただし1,020円未満の場合は、その額です)</li> </ul>
重度心身障害者 医療費助成制度 <b>障老</b>		65歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登別市に住民登録している方</li> <li>●医療保険に加入していること</li> <li>●身体障害者手帳の等級が1～3級の方。ただし、3級の方は、内部障害のみ</li> <li>●知能指数(IQ)がおおむね50以下の精神薄弱者と判定または診断された方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印鑑</li> <li>●医療保険証</li> <li>●身体障害者手帳など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老人保健法の本人一部負担金を助成します</li> </ul>

# きらり

## 第25回北海道陶芸展 知事賞受賞

佐藤 さとつ

彰さん (新川町)



北海道陶芸協会が主催する第25回北海道陶芸展で、新川町の佐藤さんの作品(大壺「泰然」)が最高賞の知事賞に選ばれました。受賞を喜ぶ佐藤さんにお話しを聞きました。

―受賞した感想は  
「道内各地から107人の出品があり、まさか最高の賞をもらえるとは思っていませんでした。私よりかなり先輩の方がいる中で選んでいただき、びっくりしたのと、これからが大変だなというのが実感です。  
今回の作品は、見る人の心に安心感を感じてもらえればと、粘土成形から焼き上げまで、あえて素朴な味を出そうということで仕上げました。この素材に仕上げた作品が認められたというのがすごくうれしいです」

―陶芸を始めたきっかけは

「始めは絵をやっていたんですが、たまたまテレビで焼き物をやっている情景を見て、それがものすごく力強く、ダイナミックな感じがして心を引かれたんです。これがきっかけで昭和48年から陶芸を始めました」

―陶芸の魅力は

「自分の作ったものが、日常生活で密接に使えるというのが一番の魅力ですね。陶器というのは、使っているうちにだんだん良くなりますから、さらに愛着がわいてくるんです。それから、手作りですから、自分で作った喜びがありますね。何工程か経て焼き上がると、みちがえるような色合いが出て感激しますよ。それを味わうと思えます」

私は、陶芸をとおしている人々と交流できるというのがすごく楽しいですね」

―これからの目標は

「札幌圏にくらべると、登別を含めた室蘭地区の焼き物をやる人の数が少ないんですよ。焼き物をする人の底辺を広めていくことに、これから力をいれていきたいです」

―陶芸は楽しみながらやるうじやないか」と話す佐藤さん、これからも素材で味わいのある素晴らしい作品を披露してください。



▲写真左が知事賞を受賞した作品「泰然」

## いまいま ボランティア

ともに楽しむボランティア活動  
何でもできる喜びを!

栄町の大磯一義さんは、個人ボランティアとして、心身障害者デイサービスの音声点字ワープロ(注)講座の講師を、仲間3人でしています。

この講座は、目の見えない方が、いろいろな人たちと手紙でコミュニケーションをとりたい、という希望をかなえるために開講されました。

大磯さんたちは、受講者(目の見えない方)が、音声とビンのディスプレイを指先で確認しながら文章を作成していく過程で、キーボード操作や原稿の読み上げなどを手伝っています。

初めての受講者にとって、文章を作成することはもちろん、キーボード操作を覚えることは大変なことでした。

「そばにいて、手や口を出すことは簡単ですが、それを我慢し、励みながら指導してきました。」



「ボランティアセンター」伝言板  
心身障害者デイサービスセンターでは、このほかにも障害者や高齢者の趣味・生きがいづくりを目的とした各種講座を開いています。

音声点字ワープロ講座のほかにも、「ちぎり絵講座」で一緒に参加しながら作品づくりのお手伝いをしてくれる個人ボランティアを募集しています。

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター  
(☎0860)

大磯さんは笑顔で話してくれました。

(注)ノートパソコンに6点式キーボードを接続し、専用ソフトにより点字入力された文章が、点字や普通文章(墨字)で作成することが出来る機械。

「なんですよ」と、大磯さんの自立のための手助けをするもの

結局ボランティアは、何でもしてあげるのでなく、あくまでも本人の自立のための手助けをするもの

## まるごとアドベンチャーライフで 冒険心を培いました

7月26日(土)から28日(日)まで、鉾山町市民研修センターで、市内小学5年生から中学1年生を対象に自然とのふれあいを楽しむ「まるごと・アドベンチャーライフ」(ふるさと広場実行委員会主催)が行われました。

夏休みに入ってすぐの子どもたち37名は、溪流釣りや同センターでの宿泊、わらし作り、キャンプファイヤーなどを体験しました。

最終日の沢登りでは、幌別川支流のカマンベツ川を三段の滝まで約2時間を3時間かけて踏破。ふだん川の中を歩くことがない子どもたちは、地下たびにわらしをつけて、おっかなびっくりの沢登りに挑戦していました。



▲全員無事に登りきりました

## 本格的ミュージカルに感激! 劇団四季「雪ん子」公演

8月12日(月)市民会館で、劇団四季ファミリーミュージカル「雪ん子」公演が行われました。

(財)登別市文化・スポーツ振興財団設立記念事業として行われた「雪ん子」は江戸の町を舞台に、雪の子「ゆき」が子どもたちとふれあい、ゆきのやさしさがみんなに伝わっていくというお話で、すばらしい歌や迫力ある踊りなど本格的な生の舞台に、会場を埋めた子どもから大人まで約760名の観客は、いつまでも大きな拍手を送っていました。



姉妹都市の味を楽しみました

## 白石の観光と物産展

登別市と姉妹都市である宮城県白石市の観光と物産展が、刈田神社の祭典に合わせた8月22日(木)・23日(金)に、登別中央ショッピングセンターアーニス前で行われました。

毎年恒例になっているこの物産展では、白石市をもっと知ってもらおうと、観光パンフレットの配布や、ういめんやお酒、お米などの販売が行われました。

毎年この物産展を楽しみにしているお客さんもおられるようで、売り切れが出るほどの大盛況でした。

# 東 奔



## 心のふれあいを大切に 小学生ワークキャンプ研修会

8月6日(火)・7日(水)、養護老人ホーム恵寿園で、小学生ワークキャンプ研修会が行われ、幌別小学校の児童14名は、1泊2日でボランティア体験をしました。

子どもたちは、掃除や配膳など寮母さんの仕事を体験したり、お年寄りの部屋を積極的に訪れ、昔の話などを熱心に聞いていました。

お年寄りとの交流の中で、子どもたちは、「お年寄りでも子どもでも、頑張れば何でもできる」「話をするときには、声だけでなく体のふれあいが大切」ということを肌で感じ、「また、必ず遊びにくるからね」と、お年寄りとの約束していました。

## スポーツを通じて姉妹都市交流を 親善少年軟式野球大会



8月7日(木)、川上公園野球場と若草公園グラウンドを会場に、登別・白石姉妹都市交流「親善少年軟式野球大会」が開かれ、登別市・宮城県白石市・札幌市白石区から6チームが参加し、親善交流試合を行いました。

登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流事業は、昭和62年から軟式野球やサッカー、柔道、剣道などの種目で、毎年行われています。

開会式で登別市代表として選手宣誓を努めた掘松静香さんは「友だちも増えるので楽しいです」と、話してくれました。

## 仲間たち

### 楽しく華やかにフォークダンス

## フォークダンスサークルすずらん

会長 菅原加津子さん  
☎01741



フォークダンスサークルすずらんは、公民館講座でフォークダンスを習った方々が集まって結成され、今年、10周年を迎えました。

会員は女性17名で、毎週土曜日の午前中2時間程度、婦人センターでフォークダンスを楽しんでいます。

フォークダンスは、世界の民族舞踊などをアレンジして踊るため、輪になって踊るものや、ワルツやタンゴのようにペアになって踊るものなど、躍動感のあるものから優雅に踊るものまで、踊り方やステップなど、とても幅広いそうです。

フォークダンスでは飛んだり回ったりと、足を使うステップ

が多いので、毎回30〜40曲も踊っていると、とてもいい運動になり、会員みなさんの健康にも役立っています。

会員の方々にフォークダンスの魅力をお聞きしたところ、「世界の民謡に合わせて踊るのも、音楽を聞いているだけでもとても楽しい気分になりますよ」「きれいな洋服を着て、華やかに踊ると若返りますね」と、みなさん本当に楽しそうに話してくれました。

会長の菅原さんは「ステップなどを覚えるまでは難しいですが、フォークダンスは本当に楽しいです。若い方にもぜひ参加していただきたいですね」と、話してくれました。

## 「郵便前夜」(3)

### 「漁場持ち郵便取り扱い」から 開拓移住者の郵便局へ

今から、約125年前に開設した幌別郵便取扱所は、旧舎所(通行屋)を駅通所(つうこうしょ)にしている。その場所は、現在の幌別町1丁目3番地付近の旧国道とJR室蘭線の間にあったようである。

この建物は、登別温泉から硫黄

所請負制度を廃止し、開拓使の権限強化のため、申請者に改めて許可する「漁場持ち」制度に改めたのである。

しかし現状は、場所請負人の系統を継ぐ漁場持ちが、生活品の取り扱い・税の徴収・政府の命令伝達や駅通の業務を行っていたので、幌別郡(現在の登別市)の場合も漁場持ちの山田文右衛門が駅通取扱役であるが、彼は幌別郡にいないので、帳場役の松谷金弥が郵便取扱役になったのである。

ところが、明治5年(1872年)の記録に、幌別郡内に事実上居住した日野愛意・小杉房吉も、コンブ・サケの漁場持ちの許可を開拓使から受けている。

昔のような特権もなく、収奪もできず、利潤の旨味もなくなると不在地主のような山田文右衛門や帳場役の松谷金弥の立場も弱くなり、郵便取扱役に対する開拓使の財政補助も少ないので経営の維持も困難になってきた。

明治8年(1875年)郵便法が改正され、全国の郵便役所・郵便取扱所はすべて郵便局と改名、幌別郵便取扱所も幌別郵便局となるが、この年、幌別漁場持ちの山田文右衛門が罷免、松谷金弥も幌別郵便取扱役をやめたので、片倉家旧臣で幌別郡に土着した日野愛意が、駅通頭の前島密から郵便取扱役を命じられ、彼は自宅(幌別町2丁目25番地付近)を郵便局と

して開業し、郵便事業に専念する。当時の全国の郵便局は、1等から5等郵便局に分けられ、幌別郵便局は5等であったが、郵便局が設置されているだけでも大したもので、明治14年には4等郵便局に昇格した。

また、日野愛意の月俸は50銭で、筆・紙・墨料50銭で合計1円を支給されていたが、当時、米10石が25銭としても薄給のようである。

その後、幌別郵便局は、明治29年に為替・貯金事務・小包郵便事務を取り扱うようになった。

明治期に設置された市内の他の郵便局は、明治32年(1899年)現在の登別東町3丁目に登別郵便局と同33年に幌別郵便局が幌別郵便局の郵便受取所として開設。明治41年(1908年)登別村字湯ノ滝(現・登別温泉町46)に無集配3等郵便温泉局が開設した。

明治34年3月の当時の記録によると、幌別郵便局の区域内戸数が709戸・人口2千804人、区域はカルルス・サツナイ・オカシベツ殖民地(千歳町)・シリマンベツ(片倉・桜木・川上町)・トンケシ(富岸町)・屯田給与地(富岸町)・学田(美園・若草・新生町の一部)・トウボシナイ(美園・若草・新生町の山麓部)、それに、白老村字敷生(現・竹浦)・ボンアヨロ(登別港町から白老町字虎杖浜に続く海岸地帯の村落)に及ぶ、広い地域に跨がっていた。



▲昭和17年頃の幌別郵便局、局長大坂義衛氏(現・幌別町4丁目8・9番地付近)

ふるさと  
登別



# あらかると

## 情

### 第9回登別市民健康まつり

(ヘルスパイオニアタウン事業)

▼日時 10月13日(日) 10時～15時

▼会場 しんた21

▼テーマ 高脂血症予防

▼内容 体脂肪測定、血圧や血糖などの健康相談、歯科検診、ヘルシー食の試食、チェアボール大会、コレステロール血液検査、ウォーキングコーナー

▼問い合わせ 保健福祉課

(しんた21内 ☎0100)

※詳しくは広報のほりべつ9月15日号に一覧表を折り込み、お知らせします。

### ●しんた杯争奪チェアボール大会

参加者募集

チェアボールとは、いすに座ったまま行う、ミニバレーボールに似た、お子さんからお年寄りまで気軽に楽しめる新しいレクリエーションゲームです。

1位から3位に豪華商品を、参加者全員には参加賞を用意しています。

▼日時 10月13日(日) 10時～15時

▼場所 しんた21

▼定員 5人1組で16チーム

▼申し込み・問い合わせ 9月17

日(火)までに電話で保健福祉課

(しんた21内 ☎0100)

### ●血液検査(総コレステロール値)を受けませんか

▼月日 10月13日(日)

▼場所 しんた21

▼対象 満40歳以上の方(高コレステロールで通院中の方は除きます)

▼定員 50名(申込順)

▼検査料 無料

▼申し込み・問い合わせ 9月9日(月)から事前に電話で保健福祉課(しんた21内 ☎0100) ※検査時間は申し込み後に連絡します。

### 文化・スポーツ振興財団が5のお知らせ

#### ●国体開催記念 第7回24時間バドミントンフェスティバル

▼日時 9月14日(土)15時から9月15日(日)15時までの24時間

▼場所 総合体育館

▼対象 市民または市内に通勤・通学する方

▼種目 ギネスに挑戦、マラソングラブルゲーム、ウルトラライズ、市民大会など

▼申し込み 当日会場受付

▼問い合わせ 文化・スポーツ振興財団(☎1116)

#### ●ふるさと料理教室

▼日時 9月21日(土) 9時30分～

▼場所 市民会館調理室

▼対象・定員 市民40名(申込順)

▼内容 ホッキ、秋シヤケを使った料理作り(2品)

▼講師 登別漁業協同組合婦人部

▼参加料 材料費500円

▼持参するもの 包丁、エプロン

▼申し込み・問い合わせ 9月6日(金)から9月16日(月)までに電話

で文化・スポーツ振興財団(☎1116)

#### ●少年水泳教室参加者募集

▼月日 9月26日(木)から10月9日(水)までの日・月曜日を除く毎日(計10回)

▼時間 16時～17時

▼場所 市民プール

▼対象 市内に居住する小学1年生から2年生までの初心者

▼定員 50名(申込順)

▼受講料 傷害保険料400円

▼持参するもの 水着、ブルキヤップ、バスタオル

▼申し込み 9月10日(火)から9月20日(金)まで(9月17日(火)と9月18日(水)を除く)の13時から17時

に電話で市民プール(☎5588)

#### ●ピアノコンサート

▼日時 9月24日(火) 18時開場、18時30分開演

▼場所 市民会館

▼演奏者 ミア・エレソヴィッチ(出身国 クロアチア)

▼曲目 ベートーベンやショパンなどの作品

▼入場料 500円

▼チケット取扱所 市民会館

▼問い合わせ 文化・スポーツ振興財団(☎1116)

### 電気暖房器は使用前に必ず自己点検を!

みなさんは、お持ちになつている電気毛布、電気カーペット、電気あんか、電気ストーブ、ファンヒーターなどの電気暖房器を点検していますか。

電気暖房器は、数年間使用していると外観に異常がなくても内部やコードが傷み、故障や事故を起こすことがあります。

シーズンはじめには必ず十分な点検を行い、安全に使用しましょう。



●プラグのガタつき ●コードのいたみ ●コントローラーの熱

「電気毛布や電気カーペットのコントローラーが熱くなったり異臭がする」「電気暖房器のプラグのガタつきやコードが傷んでいる」などの場合には、すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店へ相談ください。

### 絵はがきのためのバステル画小品 清水政一「梟展」

東京登別げんきかい会員清水政一さんの個展を開きます。

▼月日 9月12日(木)～9月15日(日)

▼時間 10時～20時(9月15日(日)は18時まで)

▼会場 登別中央ショッピングセンターアーニス1階広場

▼入場料 無料

### 高齢者のみなさんへ

#### 郷土資料館無料入館日のお知らせ

敬老の日になみ、高齢者の方の郷土資料館入館料は無料です。

▼日時 9月7日(土)～9月16日(月)

10時～17時(9日(月)は休館日)

▼対象 市内に居住する60歳以上の方

▼問い合わせ 郷土資料館(☎1339)

### ボーイスカウト団員募集

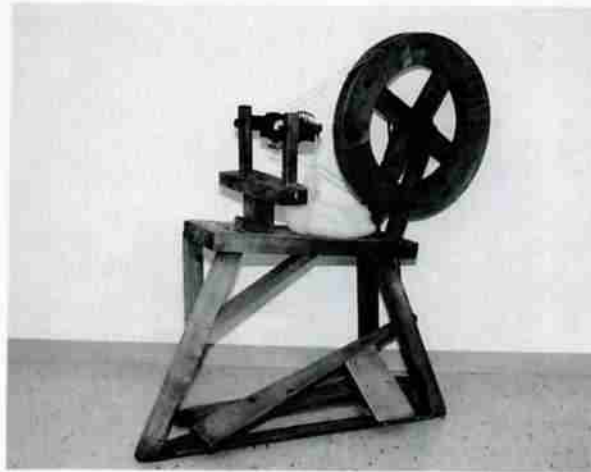
ボーイスカウト登別第1団は、団員を募集しています。

詳しくは問い合わせください。

▼対象 幼稚園児から中学生まで(男女は問いません)

▼申し込み・問い合わせ 菅野さん(☎4913)または木原さん(☎3823)

これなあに？



糸つむぎ機

これは、糸つむぎ機。  
羊さんから刈り取った羊毛を、毛糸にするための道具なんだよ。

足でペダルを踏んで芯を回しながら、ふわふわの羊毛を少しずつ通していくと、あつたかそうな毛糸になつていくの。この毛糸で、お母さんたちはセーターや帽子や手袋を編んでくれたんだ。

8月の郷土資料館体験学習のときは、実際にこれを使って糸つむぎ体験をしたんだよ。9月14日の10時から、その毛糸を使って、はた織りの体験学習をするんだ。コースターとか花瓶敷きを作るから、みんな来てね。  
(登別市郷土資料館展示品)

人のうごき

- 人口 57,252(+ 4)
  - 世帯 22,888(+40)
  - ( )は前月比
- 平成8年7月末日現在

室蘭市

となりまち  
ホットライン

JFL(サッカー)  
コンサドーレ札幌VS大塚製菓

来年のJリーグ昇格をめざす「コンサドーレ札幌」の試合が室蘭で行われます。今年2度目となる室蘭での試合をみんなで応援しましょう。



▼日時 9月22日(日) 13時キックオフ

▼会場 入江運動公園陸上競技場

▼入場券前売り料金(当日券は300円増し)  
S席自由 1千700円 一般 1千200円

小中学生 700円

▼チケット発売所 大西レコード店(富士町)、丸井デパート、室蘭音楽文化協会

▼問い合わせ スポーツ課(☎7521)

伊達市

女流工芸「一の会」伊達展と  
ふるさと文化展を開催します



全道の女性工芸家の集まる「一の会」の伊達展が開催されます。会員23人の作品70点と、地元作家の作品が展示され、期間中は染色と皮革の講習会も実施されます。

また、各市町村の庁舎や公民館などに展示されている、地元ゆかりの作品を集めた「ふるさと文化展」も開催されます。道央圏各市町村の約50点の作品が展示され、21日午後6時からミニコンサートも開催されます。どちらの展示会も無料ですので、お気軽にお越しください。

▼日時 9月20日(金)～25日(水) 「ふるさと文化展」は21日(土)から1午前10時から午後6時まで

▼場所・問い合わせ カルチャーセンター

(☎014221515)

